

北海道手をつなぐ育成会 げっぽう

第816号

昭和39年3月13日第三種郵便物認可第10号(毎月1日発行・定価一部10円含む)
●発行日—令和8年(2026年)1月1日
●発行所—一般社団法人 北海道手をつなぐ育成会
〒060-0002 札幌市中央区
北2条西7丁目かどる2・7(4F)
電話 011-251-0855
FAX 011-251-0804
Eメール doikusei@air.ocn.ne.jp
●発行人—佐藤春光
印刷所 (株)北海道機関紙印刷所

「人を信じ、信じ合える人間関係の創造」

一般社団法人 北海道手をつなぐ育成会 会長 佐藤 春光

70年に及ぶ北海道手をつなぐ育成会の歴史は、障がいに対する差別や偏見に正面から声を上げてきた歴史です。当初の会報によれば、会結成には、親が中心になるグループ、医師が中心になるグループ、教師が中心になるグループ、施設の職員等が中心になるグループがあったとあります。いずれにせよ、障がい者本人を真ん中に据えて、支援者と親が共に立ち上げたものです。

無知による差別や偏見がまだ大きかった時代に、問題に気づき、これと取り組む使命感に燃えた人が中心になって育成会は結成されました。

一人一人の人間を大事にする高い志と熱い行動が時代を変えて來たのです。一人一人が生活をするだけでも大変な世の中にあって、地域で育成会を支え頑張って來た会員の努力は並大抵ではありません。その積み重ねが現在の到達点だと思います。

新年は、新たな気持ちで現実と向き合い、未来をめざす目標を立てて出発したいものです。

残念な事に、70年たった現在、北海道手をつなぐ育成会の会員は、全市町村の半分を切るところまで來ました。構成員が10人未満の地区が19地区、20人未満になると42地区(47%)にまでなっています。

育成会が縮小している原因を、「今の親は恵まれている」「今の親は組織を嫌う」「今の親はメリットを求める」「今の親は困ることがない」…という「今の親」に求めることはやめましょう。

今の親も昔の親も障がいのある子どもを抱えながら必死に生活しているのです。原因は「今の親」にあるのではなく、人と人との手をつなぎづらい社会の進行があるのです。

障がい者の99%が、200万円以下の年収です。障がい者の56%が年金と工賃を合わせても100万円以下の収入なのです。今も昔も、親やきょうだいの支援なしには障がい者の生活が成り立たないです。親子やきょうだいの人間関係が希薄になってきている現代、障がい者の生活は尚更困難を増しています。

人間だからこそ共生社会が実現できるのです。障がい者が社会の中で、願いを実現できるかどうかが発達した社会のバロメーターなのです。高齢化社会となり、障がいと無縁な人がいなくなった今こそ、障がい者を社会の中心に据える時なのだと思います。

人を信じ、信じ合える人間関係を創ることが『障がい者が地域で普通に暮らす社会の実現』につながっていくのです。



迎春 令和8年(2026年)元旦

一般社団法人 北海道手をつなぐ育成会 役員

会長 佐藤 春光
副会長 樋口 賢治
副会長 長江 瞳子
理事 畠山志のぶ
理事 東 則子
理事 青木 繁雄
理事 若林富士女
理事 服部 宗弘

理事 光増 昌久
理事 初山 聰子
理事 高橋 雄介
理事 千葉 隆
理事 青山 弥生
理事 小池 拓
理事 山田 大樹
理事 大閑 薫

理事 竹岡 好恵
理事 新津 和也
理事 五ノ井八重
理事 三浦 鶴一
理事 山田 由紀
理事 岩間 安泰
理事 門内 勇治
理事 大垣 敏男

監事 岡田光次郎
監事 坂井 篤
監事 鈴木 大輔

事務局長 藤田 明宏
事務次長 種田 郁子



新年のごあいさつ

「難儀」とともに乗り越えた20年
北海道知的障害児者生活サポート協会



会長 樋口 賢治

謹んで新年のお慶びを申し上げます。旧年中は多大なるご支援を賜り、本会の諸事業を充実した内容で実施できました。心より感謝を申し上げます。

さて、NHK朝ドラ「ばけばけ」の主題歌「笑つたり転んだり」（ハンバート ハンバー）冒頭の「毎日、難儀な事ばかり…」が頭から離れないのは私だけでしょうか。年初めのこの時期、先達の労苦を振り返り、また、学びながら、新たな気持ちでスタートを期したいと思っています。

知的障がいのある人達が保険に入ることは困難な時代が長く続きました。親たちは独自に互助会組織を立ち上げ、支え合いましたが、2006年、保険業法の改正に伴い、解散を命じられるに至りました。当時、全国で35万筆もの署名活動や、関係者による創意と粘り強い努力のもと、私たちの先達は相互扶助の精神を「総合補償制度」という形で引き継ぐ「全国知的障害児者生活サポート協会」を創設。今年をもって20年目を迎え、昨年10月現在、全国17万人、道内でも1万人を超す会員を擁します。

この間、本道においては「手をつなぐ育成

会」と連携することを基本に、会員ニーズに即した各種プランの提供や「親なきあと」「障害年金」セミナー等の事業を開催し、さらには、一昨年より発達障がい児者の皆様も補償制度の対象とさせていただきました。

本年もさらなる成長を目指し、一層の創意工夫、そして努力を重ね、皆様と共に歩んでまいります。改めまして、本年もどうかよろしくお願い致します。

創立70周年記念

第10回全育連全国大会 東京大会／本人大会 全国手をつなぐ事業所協議会 全国研修大会

2025年10月8～9日、東京都を会場として開催されました。1日目は、育成会大会分科会と事業所協議会研修大会が行われました。育成会大会は8分科会が行われ、北海道からは4名が「自分らしく地域で豊かに暮らす」や「これからインクルーシブ教育への期待を語る」の分科会、バスツアーに参加しました。事業所研修大会には、北海道から2名が参加しました。

インクルーシブ教育の分科会では、中学校まで支援学級に通い、高校から通常高校で学んでいる都立蒲田高校2年生の谷中絢太さんから発表があり、小学校からの体験を語りました。谷中さんは、支援級での良かつたことや悪かったこと、高校での工夫などについて述べ、最後に支援級から通常高校に行きたい人に「分からないことがあつたら、友達や先

生に頼ること、人と違うと思われたり、言われたりしても『自分は他の人には持っていないものがある』と自信を持つこと、何かやろうと思つて迷つたら、とりあえずやってみること』の3点を伝えたいと話しました。

2日目は全体会が日本工学院アリーナで行われました。式典では、佐藤春光道育成会会長が全育連会長表彰を受けました。



また、佳子内親王がご臨席され、おことばを述べられました。その後、内閣特命担当、法務、文部科学、厚生労働の各大臣、小池東京都知事などのご挨拶を頂き、育成会大会宣言決議、本人大会宣言決議が満場の拍手で採択されました。

記念講演は、2021年に公開された映画『梅切らぬバカ』の和島香太郎監督と野澤和弘さんとの対談形式で行われました。『梅切らぬバカ』は、老いた母（加賀まりこさん）と自閉スペクトラム症の息子（塚地武雅さん）が地域との交流を通して、自立の道を模索する姿を描いた秀作です。全国大会のイベントでも上映されました。映画のシーンを映し出しながら、その背景や描きたかったことなどが語られました。

大会には、育成会会員2300余名、事業所協議会会員240余名をはじめ、総勢2857名が参加しました。

今年の全国大会は11月1日に神戸で開催されます。

インクルージョン・インターナショナル

世界大会参加報告会開催

2025年11月16日(日)にインクルージョナル・インターナショナル(I・I、世界育成会連盟)世界大会の参加報告会が札幌みんなの会・道育成会の共催で、北海道高等学校教職員センターで行われました。約30名の方が参加して、世界大会の様子や各国の知的障がい当事者本人の取り組みの現状、日本からの参加者がどのような意見を発表してきたなどが、詳しく報告されました。

I・I世界大会は4年に1回、世界各国で行われてきましたが、コロナ禍をはさみ、前回2018年バーミンガム(イギリス)以来7年ぶりに、9月15~17日にシャルジャ(アラブ首長国連邦)で開催されました。47か国約600名が参加。日本からは北海道の10名を含め、25名の本人・支援者・親が参加しました。

報告会は札幌みんなの会の土本秋夫さん(しゃいし)司会で行われ、最初に、札幌みんなの会支援者の光増昌久さんからI・I世界大会の歴史や本人が参加することによって、どのように

変わってきたか、日本からの本人参加の歴史などについて説明がありました。その後、同じく支援者の渡谷萌さんから、今回の世界大会の様子、分科会で発表された各国の現状と取り組み、北海道の参加者の意見発表の様子などが報告されました。

その後、支援者の神部雅子さんの進行で、参加した本人の土本秋夫さん、原田博子さんが大会で発言をしたこと、世界のいろいろな人と交流して考えたことなどを見ました。土本さんも原田さんも、「ほかの国の人たちは自分の考えを積極的に発言し、発信していた。自分たちも北海道でどんどん発信していきたい」と話していました。長時間の移動や暑さで大変だった中、有意義な世界大会参加となつたようです。みんなが疲れ様でした。



～お知らせ～ 第71回全道大会登別大会 第32回本人大会

- 日時：令和8年9月26日(土) 10:00~17:30
- 場所：登別市民会館
登別市観光交流センター ヌプル
- 内容：分科会
(児童期・成人期・高齢期・育成会活動)
記念講演～ 田中 康雄 氏
(ミネルバ病院 副院長)
本人大会分科会・全体会
チャレンジド
思い出観光(伊達時代村など)

●会場	北海道高等学校教職員センター4階	9	..	30	..	12	..	30
●講演	大橋 伸和 氏 (オンライン併用)	「私の人生談から考える発達障害」						
●参加費	一般	1000円	学生・当事者	500円	9	..	30	..

●日時 2026年1月24日(土)
●会場 北海道高等学校教職員センター4階
●講演 大橋 伸和 氏 (オンライン併用)
●参加費 一般 1000円
学生・当事者 500円
※詳細は道育成会ホームページに掲載

【ご案内】 北海道障害児教育フォーラム2026

道育成会など親の会と教職員、全障研北海道支部などで実行委員会を作り、毎年開催して26回目となります。

知的障がい児者・発達障がい児者(自閉症児者を含む)の 生サポは 家族の安心を支えます

●日常生活に関する相談支援 ●就労に関する相談支援
●権利擁護に関する相談支援 の3事業を実施しています。

当会にご入会いただくと、
知的障がい児者、発達障がい児者(自閉症児者を含む)のための
病気やケガの総合補償制度をご利用いただけます。

生活サポート総合補償制度は…

全国で約15.7万人※のみなさまにご利用いただいている補償制度です。

※2024年11月時点

AIG損保の普通傷害保険

生活サポート総合補償制度

保険のお問合せはこちら

■担当代理店・扱者

株式会社 ジェイアイシー 北海道支店

〒060-0042 札幌市中央区大通西13丁目4番地102
レジデンシア大通公園2F

TEL : 011-221-7009 FAX : 011-221-1704

受付時間：午前9時～午後5時

(土・日・祝日・年末年始を除く)

■引受保険会社

AIG損害保険株式会社

<https://www.aig.co.jp/senso>

札幌支店

〒060-0003 札幌市中央区北三条西4-1-1 日本生命札幌ビル17F

TEL : 011-204-7510

受付時間：午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

病気やケガで入院したとき
入院給付金

*プランによって補償します

賠償責任を負ったとき
個人賠償責任補償

ケガをしたとき
死亡・後遺障害・入院・通院・手術／各保険金
(地震・噴火・津波によるケガも対象)

虐待・逮捕・勾留に対応するとき
弁護士費用等補償

病気で死亡したとき
疾病葬祭費用保険金

*プランによって補償します

就労中に他人にケガをさせたり
物を壊してしまったとき

職業従事中事故対応費用補償

*上記は概要ですので詳細は下記までお問い合わせください。

特定障害者福祉団体傷害保険特約、弁護士費用等補償特約、

職業従事中事故対応費用補償特約、地震・噴火・津波危険補償特約セット

ご入会のお問合せはこちら

北海道知的障害児者生活サポート協会

〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目 かでる2・7 4階

北海道手をつなぐ育成会内

TEL : 011-251-0855 FAX : 011-251-0804

受付時間：午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

2025年1月現在の内容です。(D-007611 2026-03)

障害のある方向け 総合保険

あ！それうちかもと思った方！

ぜんちの あんしん保険

障害のある方とそのご家族へ
少額短期健康総合保険(無告知型) 2019年創設

- 病気やケガにしっかり備える
- 告知や障害者手帳は不要
- 入院日額最高1万円

- 権利擁護費用補償
- 総合生活保険(個人賠償責任補償)で賠償責任を補償(国内は東京海上日動の示談交渉サービス付き)

入通院の悩み

- 突然の病気やケガが心配
- 入院時の出費に備えたい
- 障害があつても入れる保険を探している

相談しにくい悩み

- 虐待や差別を受けた
- 詐欺に遭わないか心配

賠償の悩み

- パニックになって他の人にケガをさせてしまったらどうしよう
- デイサービスでヘルパーさんのメガネを壊してしまった

ぜんちの こども傷害保険

特別支援教育を必要とされている方へ
権利擁護費用補償

- 特別支援教育を必要とされているお子様に
- ケガによる入通院を日額保障

- 権利擁護費用補償
- 総合生活保険(個人賠償責任補償)で賠償責任を補償(国内は東京海上日動の示談交渉サービス付き)

詳しい資料のご請求・お問い合わせはこちら

24TX-004230(2024年12月作成) Z012-2411R00

ぜんち共済株式会社

開業財務局長(少額短期保険)第14号 九段北235ビル4階

平日10時～16時

土日・祝日・年末年始を除く

URL:<https://www.z-kyosai.com/>

0120-322-150

取扱代理店(資料請求・その他お問い合わせ)

有限会社オフィスブレイン

〒060-0032

北海道札幌市中央区北2条東3丁目2番地 札幌セントラルビル2F

TEL : 011-207-2522 FAX : 011-207-2523

『どんな障がいがあっても、地域で普通に暮らしたい』

障がい者の願いを実現することが事業所協議会の
目的です。私たちは、「経営」と「志」の統一を
目指しています。体力のある事業所も体力のない
事業所も助け合います。あなたの事業所の入会を
待っています。

北海道手をつなぐ育成会 事業所協議会

〒060-0002

札幌市中央区北2条西7丁目 かでる2・7(4F)

電話(011)251-0855/FAX(011)251-0804

E-mail : doikusei@air.ocn.ne.jp

★会員事業所紹介★

障がいがあっても安心してこの町で暮らせるために

特定非営利活動法人 静内耕生舎 CoKoRo357

〒056-0017 日高郡新ひだか町静内御幸町6丁目3番63号

TEL・FAX (0146) 49-0509

E-mail : kouseisya@air.ocn.ne.jp

★就労継続支援B型 (定員20名)

★主な作業

☆昆布製品加工・販売

☆リサイクル品の整理・販売

☆販売コーナー設置と販売

☆畑作業(夏季)

